

## 2016年がん登録件数

記載するグラフは2016年1月から12月に入院・外来を問わず、当センターで「がん」と診断し治療・経過観察を行った件数です。  
 (国立がん研究センターによる全国集計が発表されていますが、集計の条件により件数が一致しない場合があります)

次の腫瘍を原発部位\*をもとに1腫瘍につき1登録しています。

- ①固形悪性腫瘍 (胃がん、乳がんなど)
- ②造血系悪性腫瘍 (白血病、悪性リンパ腫など)
- ③上皮内悪性腫瘍 (臓器内表面を覆う上皮にとどまるがんで転移がないもの。子宮頸部上皮内がんなど)
- ④脳腫瘍\*\* (悪性・良性・性状不詳\*\*\*を含む)

\*原発部位で登録します (転移した腫瘍の治療を行った場合、登録は原発部位となります。)

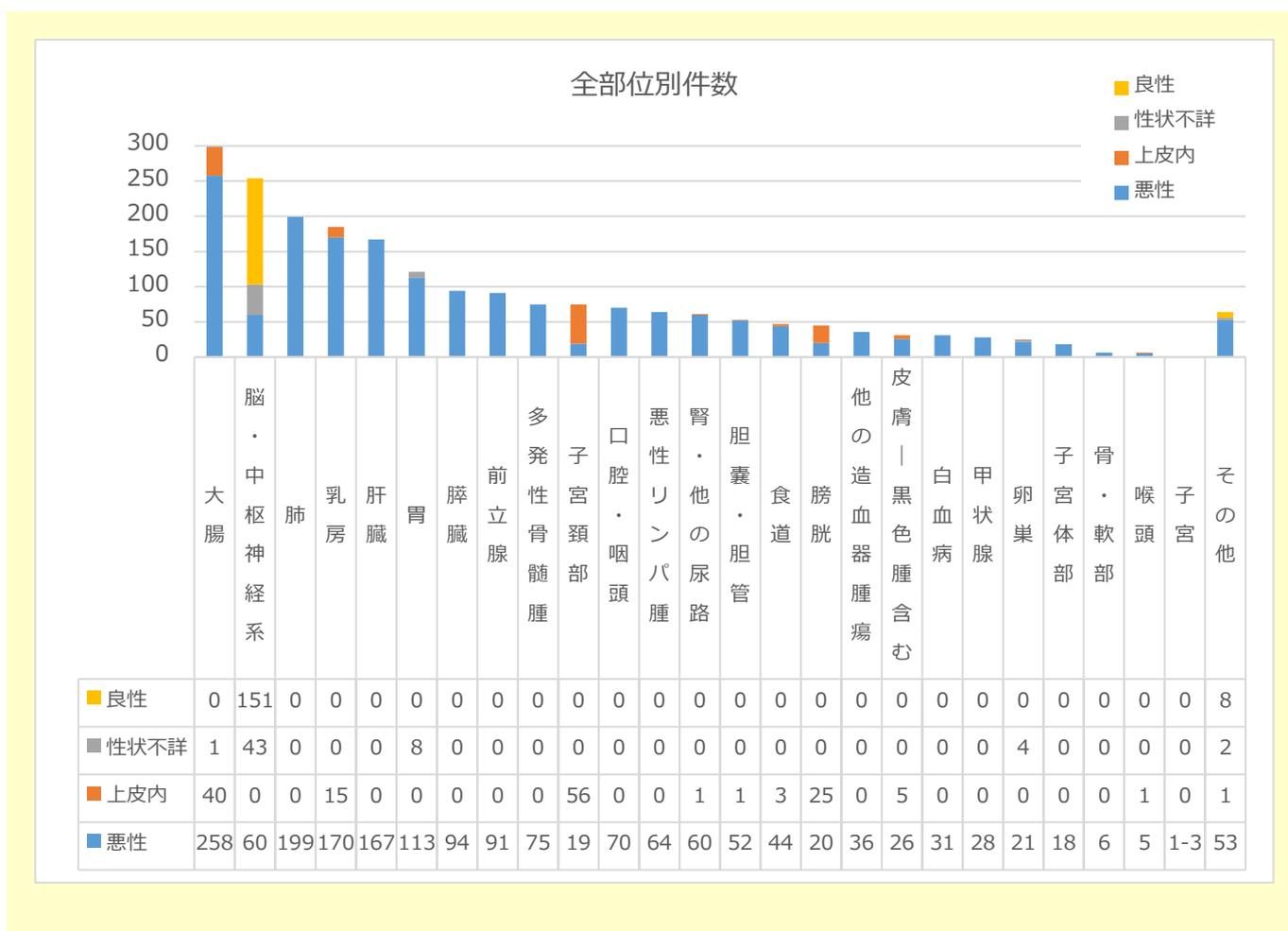
例) 肝臓に転移した大腸がん→部位 = 大腸で登録

\*\*脳腫瘍は良性・性状不詳であっても全身に影響を及ぼすことがあるため、登録対象となります。

\*\*\*性状不詳とは、国際疾病分類腫瘍学第3版に定められた「良性又は悪性の別不詳 (境界悪性、低悪性度、悪性の潜在性不詳) を指します。

## 部位別件数

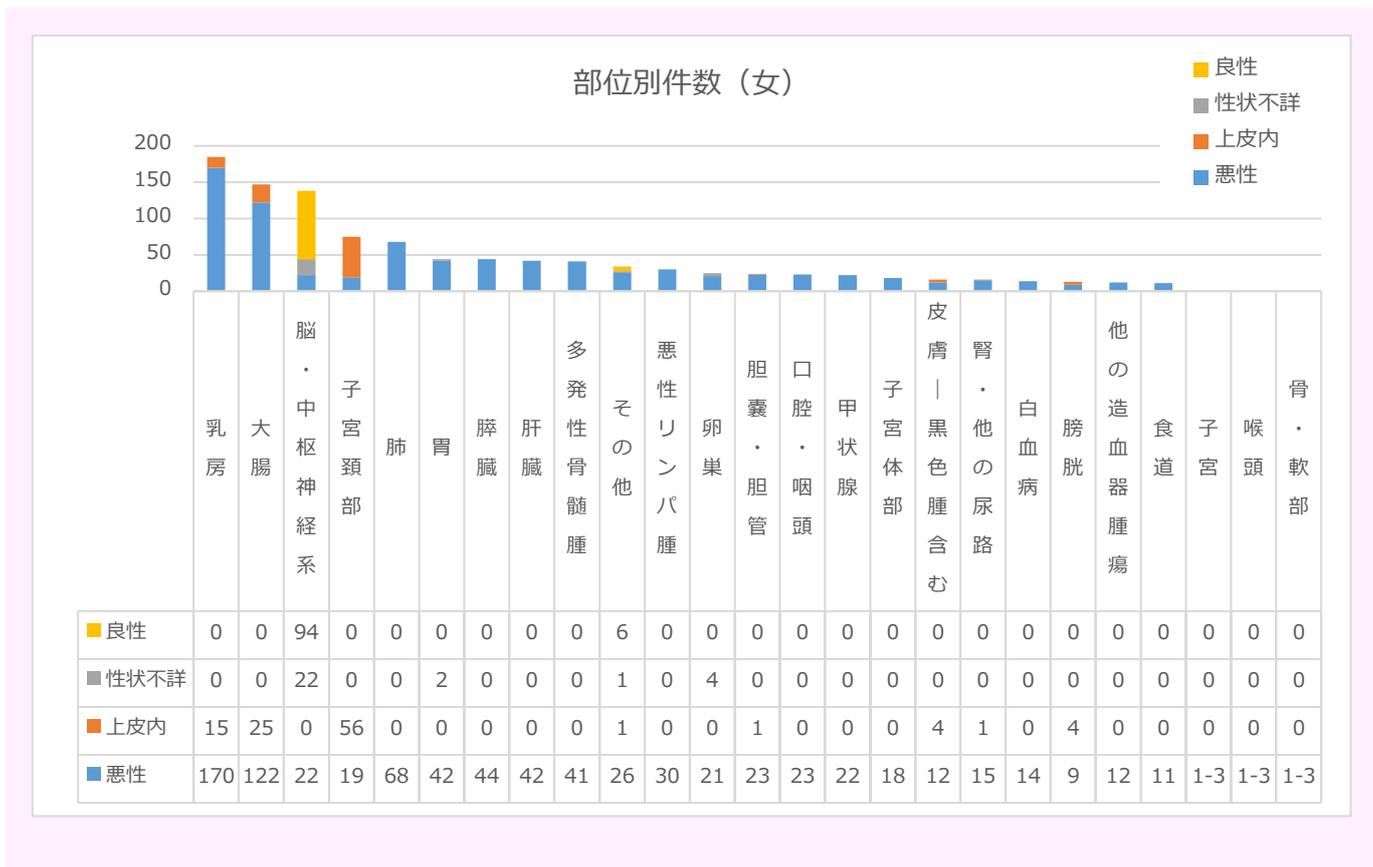
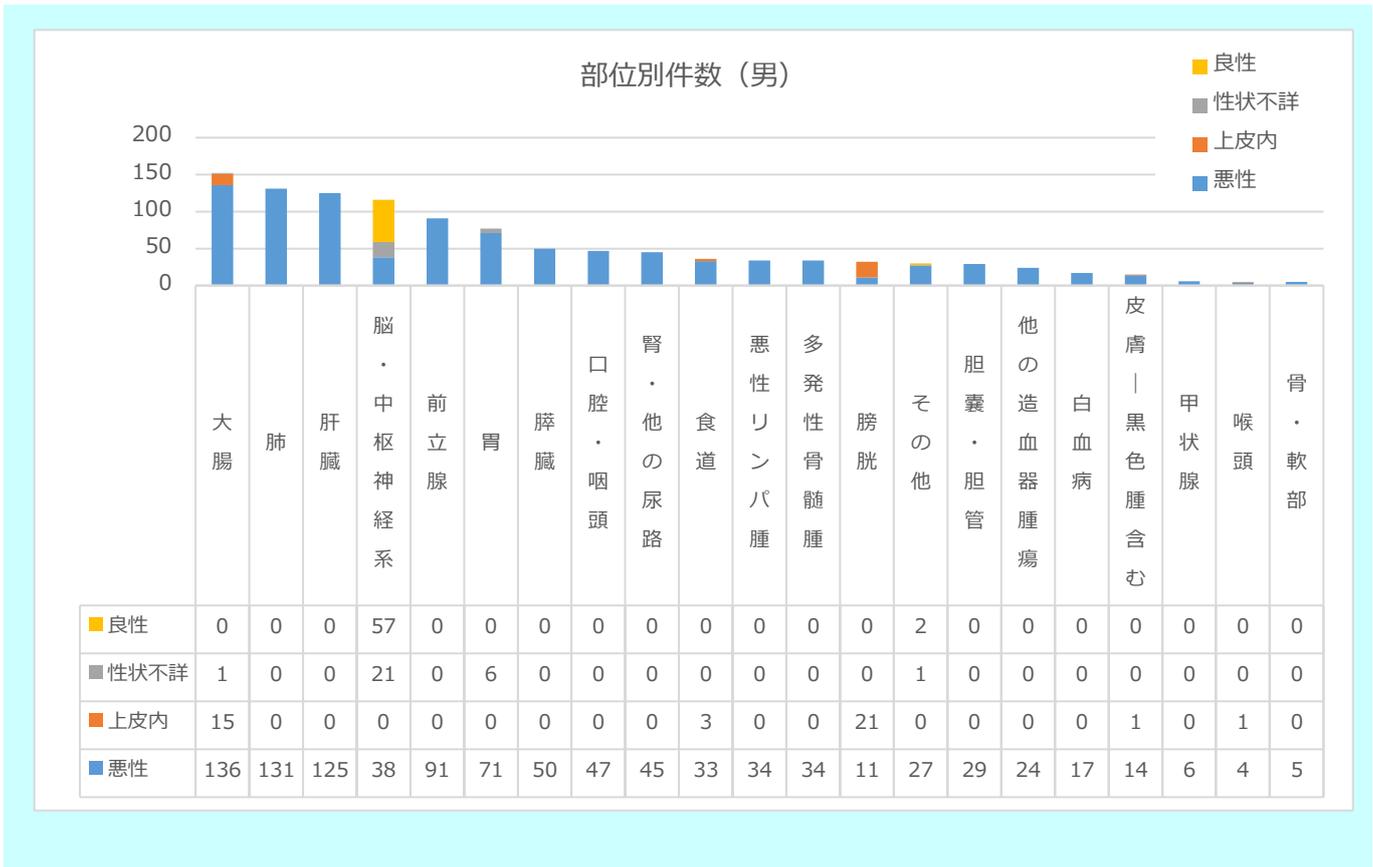
当センターのがん登録件数を部位別に示しています。



当センターでは、国立がん研究センター資料による2016年予測罹患数の多い順 (男性 = 前立腺、胃、肺、大腸、肝臓、女性 = 乳房、大腸、肺、胃、子宮) と同様の部位が上位を占めていますが、第2番目に「脳・中枢神経系」が多いことが特徴的であり、良性 + 性状不詳が10.1%、悪性 + 上皮内が89.9%となっています。  
 また、「その他」には頭頸部、小腸、希少部位などが含まれています。

## 部位別・男女別件数

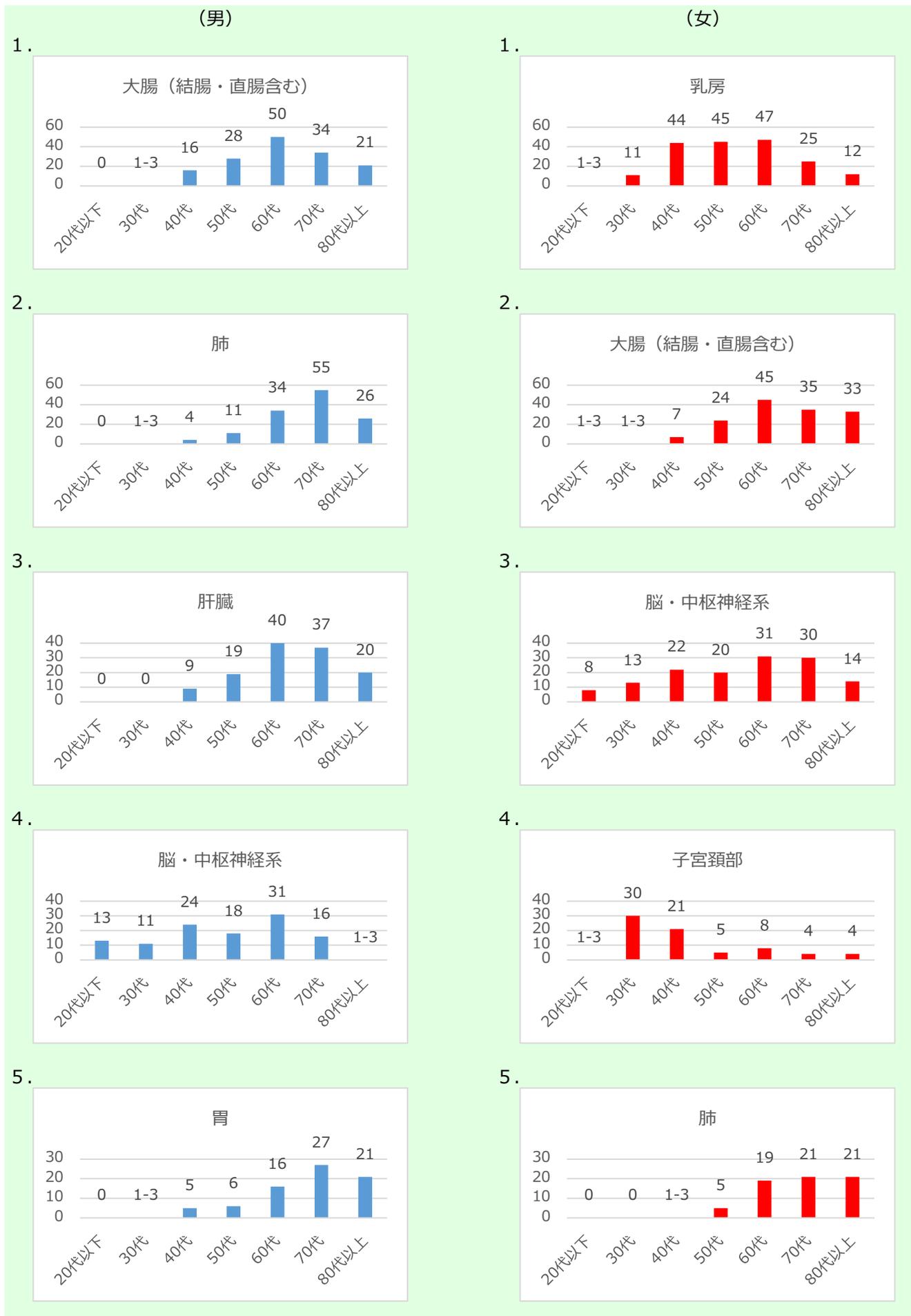
部位別のがん登録件数を男女別に示しています。



男女とも、国立がん研究センター資料による2016年罹患数の多い順（男性＝胃、前立腺、大腸、肺、肝臓  
女性＝乳房、大腸、胃、肺、子宮）と同様の部位が上位です。  
また当センターの特徴である「脳・中枢神経系」が上位に入っています。

## 上位5部位別・男女別・年齢別件数

男女別登録件数の上位5部位について、年齢別に示しています。



男性は「脳・中枢神経系」以外では60代～70代に罹患が多く、女性は「子宮頸部」で30代～40代が多い傾向です。

## 住所地別来院割合

当センターへの住所地別来院割合を、県別と東京都の内訳分けて示しています。

